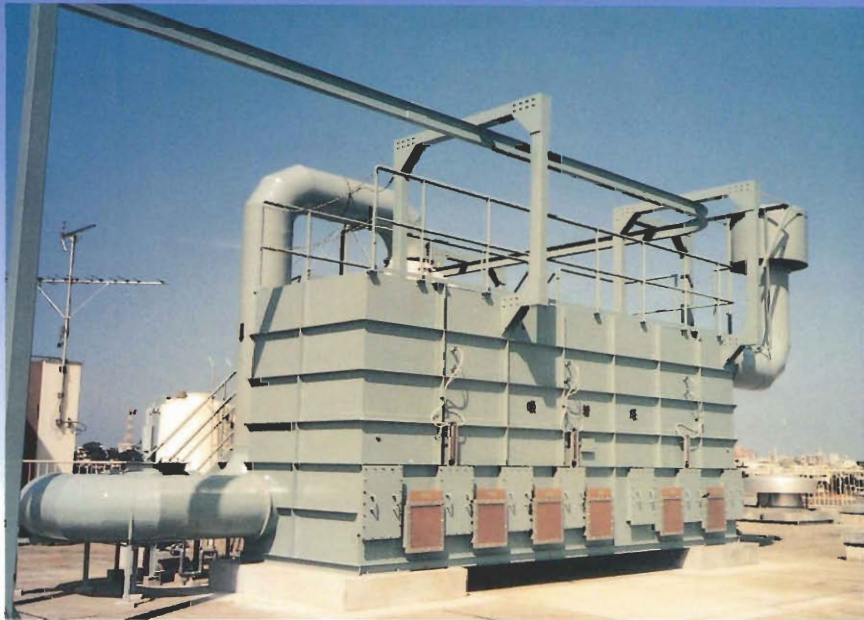


環境を守る
脱臭装置



脱臭装置株式会社

はじめに

近年わが国において住宅事情などによる住商工混在地域の増大に伴う悪臭問題が多発しています。こうした悪臭問題を解決するには、製造、加工、処理方法を改良して悪臭の発生量を少なくすることが望まれます。

発生した悪臭については、周辺住民が不快感を持たない程度まで適切な脱臭対策を行い、併せて発生場所の環境改善が必要となります。

また、ひとくちに脱臭装置といっても多様な方法があり、悪臭の発生源、発生状況などを総合的に判断して最も経済的で、効果的な脱臭対策を選択することが重要視されます。

悪臭防止に関する基礎的な資料及び方法を当社なりにまとめてみましたので参考にして頂き生活環境の保全に寄与されることをのぞみます。

営業方針

よりよい環境のために、よりよい製品、よりよい維持管理、より安いコストを考える本邦唯一の専門メーカーです。

脱臭設備をご使用になる方の側にたち常に技術開発、アイデアに自信を持ちプロフェッショナルとして対応出来るメーカーと自負しております。

営業品目

各種脱臭設備 排ガス処理装置 各種廃水処理 ダクト 配管

上記装置の

設計、製作、据付、試運転、保全。

実績

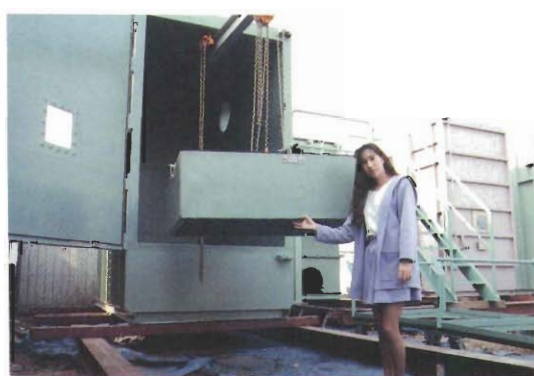
官庁関係では、各都道府県の下水处理場、ポンプ場、し尿処理場、ごみ処理場、ごみ中継場、浄水場等に数百の納入実績を持っております。

民間企業では、パン製造工場、飼料製造工場、金属製造工場、製薬工場、サッシ工場、車製造工場、化学工場、カメラ製造工場、研究所、病院、印刷工場、醤油製造工場、電線製造工場、テープ製造工場その他、多業種のユーザーに納入実績を持っております。

下記のもはカートリッジ入りの吸着剤、取り替え装置付きで簡単に操作出来るタイプです



活性炭吸着塔
(回転取出し式)



活性炭吸着塔
(スライド取出し式)

ガス処理装置、脱臭装置の選定計画について

ガス処理装置・脱臭装置計画

計画の原則	<ul style="list-style-type: none"> ① 有毒ガス、悪臭の発生箇所、範囲など発生源の確実な把握 ② 発生物質の濃度、成分割合、及びそれらの物理的、化学的性質の調査、特に引火、爆発等の危険性調査 ③ 経験値との照合 ④ 関連法規の調査、労働安全衛生法関係、公害関連法、地方条例、建築基準法等 ⑤ 制御方法の選定と計算、吸込フードと作業性との関連、特殊フードの設計等 ⑥ ガス処理方式の選定と後処理の方法の決定 ⑦ 処理装置の設置場所とダクト経路の決定 ⑧ 各部の性能計算、排風機、電動機の選定 ⑨ 安全装置の組込計画 ⑩ 官庁手続 ⑪ 計画の調整と見積計算
ガス処理方法の選定	<ul style="list-style-type: none"> ① 対象ガスの名称、成分、濃度 ② 処理ガス中に含まれる固形物（粉塵）、タール分等の状態 ③ ガス温度 ④ 発火、爆発性 ⑤ 各成分の物理処理の方法 ⑥ 各成分の化学処理の方法 ⑦ 排出濃度の検討 ⑧ 処理ガス量、作業性、装具規模の決定
設備運轉管理	<ul style="list-style-type: none"> ① 作業標準の製作 ② 処理装置の管理責任者の決定 ③ 洗浄液等の後処理の方法、廃棄物処理業者等との契約 ④ 装置の維持管理、処理薬品の補充方法

各種ガス処理装置 - 脱臭装置の原理と構造

方式	原 理	特 徴
洗浄方式	ガスを液体と接触させ、溶解、あるいは反応により対象物質を除去する。洗浄液としては水アルカリ、酸、各種塩類の水溶液が用いられる。洗浄塔としては充填塔、が多く用いられる。	粉塵と共存する有害ガス処理に適する。無機ガスの処理に適する。運転経費が安い。排水処理が必要である。
吸着方式	ガスを活性炭、シリカゲル等の吸着剤に接触させガス中の特定成分を吸着除去する。一定量の吸着剤に吸着される物質の量は限られるため適切な時期に吸着剤の交換、再生を行う必要がある。又共存する粉塵、ミスト、タール分等が吸着剤を覆って性能を低下させるのでガスの前処理が必要である。	低濃度ガスの処理に適する。成分回収ができる。吸着平衡に達した吸着剤の再生又は廃棄処分の方法を考えておかなければならない。



横型洗浄方式



縦型洗浄方式

当社施工洗浄塔、吸着塔の一例



フォークリフト式吸着塔



直投式吸着塔



縦型洗浄塔



横取り出し式吸着塔



大型吸着塔



小型消煙機

脱臭装置株式会社

〒335 埼玉県戸田市美女木東2-3-8

TEL 048-421-7014

FAX 048-422-0931